

| 基本方針 | 施策名 | 取り組みの概要 | 実施主体 |
|----------------------------|--|---|---|
| 1 生活交通の利便性向上 | | | |
| | 公共交通の役割分担を議論する会議の開催 | 人口減少・少子超高齢化に対応するため、路線バスからデマンド交通・乗合タクシーへの転換や路線バス運行区間と重複している目的バスとの役割分担について、市民、交通事業者、関係機関などと将来にわたり持続可能な公共交通となる仕組みづくりの議論を行う会議を開催し、必要に応じ社会実験などを実施しながら、課題などを整理する。 | 都市交通政策課 |
| | 高齢者おでかけ促進事業の継続 | 超高齢社会の進展を迎えるなか、高齢者のバス利用の促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制など喫緊の課題に対応するため、市内在住の65歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とし、高齢者のお出かけを促進する。 | 都市交通政策課 |
| | ワンコインバス(新潟駅前 - 万代シテイ間, 新潟大学, 清心学園, 文理高校, 青山循環線, 青陵ライナー)の継続 | 新潟駅前 - 万代シテイ間や、大学、高校周辺でのバス利用を100円とする取り組みであり、多様なライフステージのニーズに応じたサービスを継続する。 | 新潟交通株式会社 |
| | こどもりゅーと50円 | 夏休み期間、小学生以下を対象にICカードを利用して50円でバスを乗車できる取り組みであり、多様なライフステージのニーズに応じたサービスを展開する。 | 新潟交通株式会社 |
| | 妊婦・子ども向けタクシー | 陣痛等が始まった場合に必要研修を受けた乗務員がかりつけの病院まで送ることや、チャイルドシートやジュニアシートを備えつけるなど、妊婦・子どもに向けたサービスを展開する。 | 新潟県ハイヤー・タクシー協会 新潟市ハイヤー・タクシー協会 |
| | 鉄道駅のバリアフリー化 | 利用者3,000人/日以上であるがバリアフリー未対応の巻駅・越後石山駅については、調整を図りながらバリアフリー化を実施するとともに、利用者3,000人/日未満の駅については、引き続きJRにバリアフリー化の要望を行っていく。 | 都市交通政策課 |
| | ユニバーサルデザインタクシーの導入 | 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの導入を進める。 | 新潟県ハイヤー・タクシー協会 新潟市ハイヤー・タクシー協会 都市交通政策課 |
| | ユニバーサルタクシードライバーの育成 | ユニバーサルドライバー研修などにより乗務員の育成を図る。 | 新潟県ハイヤー・タクシー協会 新潟市ハイヤー・タクシー協会 |
| 2 都心部における回遊性向上 | | | |
| | 基幹公共交通軸の段階的整備 | BRT第1期導入区間の改善に取り組むとともに、環状型の基幹公共交通軸の形成に向け、JR新潟駅の高架化による長潟方面から万代・古町地区へのアクセス向上を目指し、段階的な整備を進める。 | 都市交通政策課 |
| | 万代広場・高架下交通広場整備事業 | 万代広場・高架下交通広場の整備を進め、新潟駅における鉄道と公共交通の結節機能強化や、新潟駅の南北を結んだ基幹公共交通軸の形成、人を癒し、賑わいの絶えない空間の創出に努める。 | 新潟駅周辺整備事務所 東日本旅客鉄道株式会社 |
| | 観光タクシーの普及 | 観光で訪れた利用者に観光スポットや特産物などを案内するなど、おもてなしの心をもった乗務員による観光タクシーの普及を図る。 | 新潟県ハイヤー・タクシー協会 新潟市ハイヤー・タクシー協会 |
| | 新潟市にふさわしいMaaSを議論する会議の開催 | (仮称)新潟市スマートシティ協議会、いがた交通戦略推進会議と連携しながら、民間事業者が実施する実証実験結果を活用し、交通事業者や経済団体などからの参画も募り、本市にふさわしいMaaSのあり方を議論する。 | 都市交通政策課 |
| 3 公共交通利用に対する区民の意識醸成 | | | |
| | 公共交通に関する情報発信・意識啓発 | 新バスシステム情報サイトによる情報発信や、各区生活交通改善プランにもとづき、区内公共交通の利用促進に資する情報発信や意識啓発を、区単位で実施する。 | 都市交通政策課 |
| | 車両などを活用した公共交通利用促進 | バレンタイン・ホワイトデーに、ラッピングバスの走行や、ペア二人で使える一日乗車券「HappinessTicket」(ハピネス・チケット)を販売するなど、バス利用の促進を図る。 | 各運行事業者 |
| | 公共交通利用促進イベントの開催 | バスまつりなどの各種イベントでPR等を実施し、公共交通の利用促進を図る。 | 都市交通政策課 新潟交通株式会社 |
| | エコモビリティライフ推進事業 | 公共交通機関、自転車、徒歩、自家用車などを賢く使い分け、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルを普及推進し、市内事業者等の自主的な低炭素交通の取組みを推進する。 | 環境政策課 |
| | エコ通勤、ノーマイカーデーの推進 | 市役所職員対象のノーマイカーデーを月2回設定し、自主的なエコ通勤を推進していく。 | 環境政策課 |
| | ICT技術を活用した情報提供・意識啓発 | ICT技術を活用した公共交通に関する情報提供・意識啓発を実施する。 | 都市交通政策課 |